

げんき通信

C O L U M N

げんきコラム

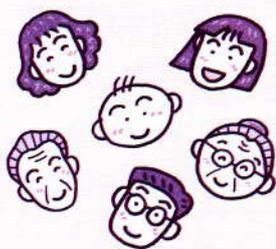
処方せんの有効期間



処方せんは発行された日を含めて4日間有効です。同じ薬が残っている時や、急いでもらう必要がない場合、後日でもかまいません。4日の間に2ヶ所以上で処方せんをもらったら、いっしょに持参していただければ、まとめて薬を用意できます。処方せんを預けておいて、後から取りに来られるケースもよくあります。FAX送信があれば、時間の短縮もできます。皆様のご都合に合わせて、便利にご利用ください。

※FAX番号は裏面にあります。

処方せんはせんぶ「くほ薬局」におまかせください



すべての病院・医院の処方せんを受けつけ責任を持って調剤いたします。

現在の日本で使われている「漢方」という言葉は、江戸時代にオランダ医学・蘭方（が）が日本に入ってきた時にできたもので、古代中国の伝統医学が日本で独自に発達した学問を指します。超高齢化社会を迎えた現在の日本において、漢方の役割は大きくなっており、医師の約90%が日常診療に使用するといったデータもあります。また、漢方は、今やりのオーダーメイド医療でもあり、個々人の体質に適合した、全人的医療の先駆けでもあります。

漢方薬に限らず、薬の効果の出方には個人差があります。中でも、漢方薬は効き目が遅いので、長くのまない効かないのでは？とよく言われます。確かに、効きが遅い漢方薬もありますが、急な発熱を伴うインフルエンザに効果的な薬もありますので、決してすべての漢方薬の効果が遅い訳ではありません。また、漢方薬であっても西洋薬であっても、のんだ後に体内に吸収されて効果を発揮しますが、その過程に個人差が大きく、その結果で効果に差が出ます。元来、漢方薬は個人個人の治療効果が

漢方薬のおはなし

葛根、麻黄
桂枝、芍薬
生姜…
漢方薬



超高齢化社会を迎えた今の日本では、漢方の役割は大きくなっています。



(中町店：薬剤師/むらおか)

最大限になるように、さじ加減を加えるものである人のためにさじ加減を加えた漢方薬を、別の人が服用しても、効果が出ないは当たり前のことかもしれません。

漢方薬の効果と西洋薬…

漢方薬の効果が出ない場合はどうしたらよいか？という質問を受けることがあります。効果が出ないからといって、自己判断で量を増やしたり、回数を増やしたりするのはやめてください。漢方薬が効果を発揮するためには、腸内細菌の協力が必要なものもあります。腸内細菌の環境が整うには、時間がかかる場合もあるので、処方された期間は、指示とおりにのんでください。また、体質改善を目的とする漢方薬の中には、効き目が遅いものもありますが、焦らずに

続けてください。

一般的に、西洋薬の多くは一種類の成分で構成され、単一の疾患・症状に作用する場合があります。漢方薬は複数の生薬（成分）を含んでいるので、ひとつの薬がさまざまな症状に対して使われることもあります。特に、西洋医学的には原因がはっきりしない慢性症状、不定愁訴、アレルギー症状、体質に起因する症状などへの効果が期待できます。中でも「冷えを改善する」という考え方は漢方独特のもので、冷えが原因と考えられる多くの症状に有効な漢方薬があります。

漢方薬本来の姿である煎じ薬と、一般によく使われているエキス剤・顆粒では、どちらが効果があるのか、基本的には、両者に大きな差はないと言えます。ただ、煎じ薬では、個人の体質に合わせて、成分の微調整が可能であり、その人にピッタリとあった処方が可能です。広く多くの人が使うにはエキス剤の方が便利です。

ご家族みなさんのかかりつけ薬局としてご利用ください

あなたのまちのくすり箱

くほ薬局

●県庁通り店 ☎23-4550

●中町店 ☎26-2817

●木原店 ☎24-2233

●中の小路店 ☎24-2882

●西与賀店 ☎22-2311

●医大通り店 ☎32-1133

●北茂安店 ☎0942-89-1777